

※赤い字の項目は必ず記載してください。記載がないとフロン排出抑制法に適合した書面になりません。

1 廃棄する機器の所有者等
〔青色の字〕

→A票に記入

- ・廃棄する機器の所有者等：全て
- ・取次者(1)：氏名又は名称、住所、連絡先

→B票に記入

- ・太枠内(再委託承諾に係る欄)

➡B票に記入

- ・取次者(1)
担当者の部署名、氏名、フロン
類の引渡し先にレ点
- ・取次者(2)
氏名又は名称、住所、連絡先

⇒C票に記入

- ・取次者(1) 交付の年月日

3 取次者(2) 〔緑色の字〕

→D票に記入

- ・ **取次者(2)**
担当者の部署名、氏名、フロン類の引渡し先にレ点、交付の年月日
- ・ **第一種フロン類充填回収業者**
登録番号、登録都道府県、氏名又は名称、住所、連絡先

⇒E票に記入

- ・ **第一種フロン類充填回収業者**
担当者の部署名、氏名、フロン類引き取り終了した年月日、引取証明書交付の年月日、充填回収技術者氏名
- ・ **回収量等** 該当項目全て

➡F票に記入

- | | |
|--------|--------|
| ・処理方法等 | 該当項目全て |
| ・引渡し先 | 該当項目全て |

該当する時、レ点

代表者又は担当部署の担当者

エアコンディショナー：人の冷暖房
冷蔵機器及び冷凍機器：物を冷却する機器

引渡し先にレ点

どちらかにレ点

フロン類回収を委託する取次者の名称等及び住所

引渡し先にレ点

取次者(1)より取次者(2)へ再委託する場合、廃棄する機器の所有者等から承諾を得る

引渡し先にレ点

第一種フロン類充填回収業者知事から受けている登録番号を記入。都道府県のホームページ又は窓口で閲覧・確認できる

依頼をする第一種フロン類充填回収業者の名称等及び住所

代表者又は担当部署の担当者

処理方法について1~5のいずれかに○印し、引渡し先及び冷媒番号ごとに、量及びその冷媒番号を記入

引渡し先業者が複数いる場合は、F票をコピーして使用

フロン類の引渡し先業者の許可または登録を受けた都道府県及び許可・認定番号を記入

確認証明書 (但し、確認してフロン類が残存している場合、回収すること)

機器整備・修理 (機器の整備・修理時に使用する場合は、左記にレ点を記入)

廃棄する機器の所有者等
(第一種特定製品廃棄等実施者)

機器所有者等の氏名又は名称 (株)青空商事
上記の住所 〒215-2212 〇〇県青空市白雲町3-4-5
担当者 部署名 〇〇部 氏名 青木 〇男
青空ビル1階
上記の住所 〒215-2345 〇〇県青空市宝町1-1-1
廃棄する機器の種類及び台数
エアコンディショナー 10 台 冷蔵機器及び冷凍機器 50 台 解体(修繕等)あり 解体(修繕等)なし
建物解体(含修繕・模様替え)の有無(下記該当に○印)

整備の場合：整備する機器の所有者等 (第一種特定製品の整備の発注者)

フロン類の引渡し先 (右記該当にレ点) ☐ 第一種フロン類充填回収業者に直接依頼する ☒ 取次者(1)に委託する (第一種フロン類充填回収業者欄に記入する)

フロン類の処理方法 (右記該当にレ点) ☐ 再生希望 ☐ 再生・破壊のどちらでも良い ☐ 破壊希望

取次者(1)
(第一種フロン類引渡受託者)

取次者(1)の氏名又は名称 環境建設(株)
上記の住所 〒215-1234 〇〇県清風市涼風2-1-1
担当者 部署名 △△部 氏名 大木 〇朗
下記の者にフロン類を引き渡します。(引渡し先にレ点を記入)

☒ 取次者(2) 取次者(2)に再委託することを承諾します。 承諾の年月日 2019年10月4日
☐ 第一種フロン類充填回収業者 廃棄する機器の所有者等の氏名又は名称 (株)青空商事 担当者 青木 〇男

取次者(2)
(第一種フロン類引渡受託者)

取次者(2)の氏名又は名称 天空企画(株)
上記の住所 〒215-8900 〇〇県虹橋市七色町5-2-5
担当者 部署名 〇〇部 氏名 森 △介
下記の者にフロン類を引き渡します。(引渡し先にレ点を記入する)

☐ 取次者(3)→(別紙「補足用」を使用して下さい) ☒ 第一種フロン類充填回収業者

登録番号 567890
登録都道府県 〇〇 都道府県
第一種フロン類充填回収業者の氏名又は名称 (株)冷媒回収設備
上記の住所 〒215-4567 〇〇県住良市大吉町5-5-5
担当者 部署名 〇〇部 氏名 小林 △太
フロン類回収の終了又は充填ゼロの確認をした年月日 2019年10月12日 引取証明書又は確認書の交付年月日 2019年10月13日
充填回収技術者の氏名 回収 太郎
電話 △△-1111-1192
FAX △△-1111-2525

下記のとおりフロン類を回収しました。

回収業者等	フロン類の種類	CFC		HCFC		HFC		計		充填ゼロ確認時の使用機	
		台	kg	台	kg	台	kg	台	kg	台	kg
第一種特定製品の種類											
エアコンディショナー	台	10	300	台	300	台	300	台	300	台	300
冷蔵機器及び冷凍機器	台			50	60	50	60	50	60	台	60
計	台	10	300	50	60	60	360	60	360	台	360
総収に記載されている充填量 (単位：kg)	台	10	330	50	65	60	395	60	395	台	395

フロン類が回収できなかった場合の台数及び要因 1 台 要因：室外機コンデンサー腐食による穴あき (確認証明書の時使用)

回収したフロン類の処理方法等

フロン類の引渡し先等 (該当する番号を○で囲む)	CFC	HCFC	HFC	左記の冷媒番号	容器識別番号	フロン類再生・破壊管理票の伝票番号
1:破壊業者(※1)	1 2 ③ 4 5	kg 150	kg	R 22	A0001, A0002, A0003	1234000
2:再生業者(※1)	1 2 3 ④ 5	kg 150	kg	R 22	A0004, A0005, A0006	1234001
3:自ら再生	1 2 3 ④ 5	kg	60	kg 404A	A0007	
4:(施行規則)第49条第1号に規定する者	1 2 3 4 5	kg	kg	kg		
5:保管	1 2 3 4 5	kg	kg	kg		

※1) 上記の1:破壊業者 2:再生業者を選択し、別票「フロン類再生・破壊管理票」を使用する場合は、容器識別番号及びX票の伝票番号を必ず記入する。

引渡し先(※2)

右記の内、該当する引渡し先の番号を○で囲む

都道府県 〇〇県 住所 〒105-xxxx 東京都港区〇〇 123-45

許可・認定番号 123456789 氏名又は名称 (株)フロン破壊再生

電話 03-xxxx-1111 自ら再生した場合の再生した年月日(※3) 2019年10月16日

FAX 03-xxxx-2222 フロン類引渡し又は充填を終了した年月日 2019年10月20日

※2) 引渡し先が複数ある場合は、F票をコピーして使用する。
※3) 引渡し先を「3:自ら再生」とした場合のみ記入する。